

研修参加報告書

平成 30年 8月 6日

会 派 名 日本共産党江南市議員団
会派代表者 森 ケイ子
参加者 森 ケイ子

研修参加の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	平成 30年 7月 11日 (水)
研修時間	午後 1時 30分～5時 30分
研修場所	早稲田大学大隈記念講堂大講堂
研修内容	全国地方議会サミット2018 議会の力で日本創生

②

年月日	平成 30年 7月 12日 (木)
研修時間	午前 9時 30分～午後 4時
研修場所	早稲田大学大隈記念講堂大講堂
研修内容	全国地方議会サミット2018 議会の力で日本創生

研修参加報告書

①

年月日	平成 30年 7月 11日 (水)
研修時間	午後1時30分～5時30分
研修場所	早稲田大学大隈記念講堂大講堂
研修内容	・講演・ディスカッション 真の地方創生とは何か 講師 片山義博元鳥取県知事 大西一史熊本市長他
■目的 ・知事時代先進的な取り組みをされていた片山元鳥取県知事の講演 熊本地震の災害時の取り組みについて学びたいと思っていた。	
■内容 最初に、基調講演 元三重県知事 北川正恭氏 特別講演 総務大臣野田聖子氏に代わって安田総務事務次官 があったが、最も参考になったディスカッションについて報告します。 ディスカッションのテーマは、「真の地方創生とは何か」 講師は、片山善博 元鳥取県知事 大西一史 熊本市長 最初に、鳥取県知事を2期務めた早稲田大学教授の片山善博氏から、知事時代の経験を含めた講演があり、「地方創生が叫ばれて4年になるが、目に見える変化はあるか、なぜうまくいっていないのか、検証する必要がある。その一つに、地域を知らないコンサルタントに丸投げしてしまっているのではないか。地域では、人口減少に歯止めをかけるのか、人口流出に歯止めをかけるのか、目標が明確ではない。」などの厳しい指摘があった。 大西熊本市長は、熊本地震の教訓から話に入られたので、大変興味深く聞くことができた。2016年4月14日午後9時40分ごろ発生した熊本地震。その後さらに強い本震が起き、大きな被害となった。 熊本市は、4月25日に議会全員協議会を開催。特別委員会の設置を決め、議会事務局長が議員の情報収集やニーズの把握等、市の災害対策本部との窓口となり、議員が個々に災害対策本部や、部長などに意見を言うことをなくした。9月に議会対策本部を設置。 想定外のこととして、117か所避難所のうち25か所が使えなくなった。公助には限界がある。共助としての地域力をつけていくことの大切さを強調。また独自の施策として「まちづくりセンサー」を市内17か所に設置し、職員各2名を配置し、現場で解決する対応を取り、1年間で1,900の要望が寄せられたが、80%以上を解決している。等	

■所感

災害時における当局と議会・議員との相互の連携、対応等について参考になった。

また 片山氏の発言の中に、自らが知事に就任した際、議会に対して「提案した議案を否決しても、修正しても結構」と言ったこと紹介し、「議会と知事は、徹底した議論を通じ、切磋琢磨して駄目なものはダメと言える議会であってほしい。決して承認のための機関ではない。」という指摘が最も心に響いた。まさに当局提案を承認するための議会となっている議会の改革こそ、急務の課題と思います。

研修参加報告書

②

年月日	平成 30年 7月12日 (木)
研修時間	午後1時30分～5時30分
研修場所	早稲田大学大隈記念講堂大講堂
研修内容	地方創成をリードする議会へ 実践報告 会津若松議長 あきる野市議会議長 犬山市議会議長他
■目的 全国の先進的な活動を学ぶため	
■内容 ○会津若松市議会 目黒章三郎議長 議会の3つの役割（監視機能・政策立案機能・民意吸収機能）を議会としてどう機能させるかを制度化して実践している。 市民の意見聴取に力を入れ、意見交換会や、請願・陳情から政策提言を行っている。 ○あきる野市議会 子籠敏人議長 徹底して分かりやすい広報、広報を通じての議会改革についての報告。 ○犬山市議会 ビアンキ・アンソニー議長 委員会審査において、議員間討議が活発に行われ、市長に対し積極的に政策提案が行われるようになった。議員提出議案で条例改正。 ○可児市議会 川上文浩議長 「民意を反映する4つのサイクル」と整理され、 ①議会運営サイクルとして、提言をまとめ、提案する。 ②予算決算審査サイクルを通じて提言。 ③意見聴取・反映サイクル ④若い世代との交流サイクル。 それぞれのルートを通じて、一般質問や代表質問として取り上げ、意見の集約を行って、議会としての提言を取りまとめ執行部へ提言し実現する。精力的な取り組みを紹介。	
■所感 報告された先進議会は、市民の意見をどう政策化し提言するかに腐心し、また市長提案に対し、委員会等で議員間討議を行って必要な修正や提言を行っていることに改めて驚きました。決算審査を重視し次への政策提案に生かしていることなど、議会が「承認機関」ではなく議会の3つの役割を担うべく改革が進行していることを実感しました。	